

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東海大学前-A計画(A棟)新築工事	階数	地上3F
建設地	平塚市北金目一丁目10番7	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	74人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年4月22日
敷地面積	1,622 m ²	作成者	ディーワークス株式会社 一級建築士事務所
建築面積	848 m ²	確認日	2016年4月22日
延床面積	2,098 m ²	確認者	ディーワークス株式会社 一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 共同住宅なので居住者・近隣居住者双方の環境向上に配慮した。居住者においては共用スペース、緑化等による住環境の向上、近隣居住者においては廃棄物保管場所、駐輪場、駐車場の整備による近隣への配慮。居住者への注意事項の徹底等	その他 学生の入居を想定した計画になりますので、共用部分に勉強、くつろぎといった用途に合わせたスペースを確保した。	
Q1 室内環境 共同住宅として快適な生活が送れるような室内環境になるよう配慮した。(換気・光視・騒音等への配慮、シックハウス対策として☆☆☆☆建材の利用には特に配慮した。)	Q2 サービス性能 共同住宅のサービス向上に係わる項目には特に配慮をした。(バリアフリーの順守、ゆとりのある階高の設定)	Q3 室外環境(敷地内) 環境・周辺への配慮は対応が難しいができる限りの配慮をした。(緑化条例の順守、道路境界より合わせた配棟計画とし、道路前面空間の開放性の確保等)
LR1 エネルギー 省エネルギーには注力した。(住宅性能評価 温熱等級3相当)	LR2 資源・マテリアル 大きく配慮のできる項目は少ないが、リサイクルを考慮した。(GL工法)	LR3 敷地外環境 建物規模等により対応が難しいができる限りの配慮をした。(廃棄物保管場所については特に配慮した。)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される